

第2780地区財団補助金管理セミナー

立案・申請・補助金管理

はじめに：補助金の概要と趣旨

新しい補助基金システムの目的と方針

- 1.プロジェクトの立案： 選択・計画と財務管理
- 2.補助金の申請： 重点分野・持続可能性・申請の条件
- 3.プロジェクトの実施： 計画（モニタリング）・財務管理、報告書
- 4.参加資格： 資格要件・MOU

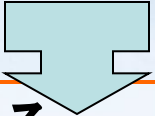
まとめ

参照：HB1-23P、は補助金ハンドブックの
掲載ページを示す



未来の夢計画の目的と方針

未来の夢は、意義ある奉仕活動を支援する

R財団の新しい補助金システムです、 目的は 

- 1.財団の使命に沿って、**プログラムと運営を簡素化**する。
- 2.世界の優先的ニーズに取り組むことで、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞る。
- 3.世界と地元の目標を果たすための資金を提供する。
- 4.**意思決定を地区とクラブレベルで**、R財団が自分たちのものと云う自覚を高める。
- 5.R財団活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高める。

◆優先事項:『**プログラムの簡素化**』『**裁量権の拡大**』
事業サイクルが2年がかりになる



補助金管理セミナーの目的

- ロータリー財団補助金の管理方法を理解する
- 資金管理において求められていることを学ぶ。
- 「クラブの覚書」の要件を順守できるよう、その内容を理解する。
- クラブが目指す奉仕プロジェクトがR財団の使命・方針に外れていないか（HB1-10Pチェックポイント3）
- クラブが補助金の受領資格を得る。



2013 - 14年度2780地区 R財団委員会組織編制

地区財団監査
委員会(3年)

公認会計士+パストガ
バナー +現役地区役
員 合計3名

構成員:補助金委員長
ガバナー.R財団委員長

地区R財団委員会

構成員:ガバナー+R財団委員長
+R財団副委員長(2名)

補助金 委員会

補助金配分 小委員会

DG補助金部会

GG補助金部会

補助金推進 小委員会

広報・研修部会

資格申請支援部会

平和フェロー・ 奨学金委員会

平和フェロー部会

奨学金・学友部会

職業研修部会

資金管理 委員会

地区管理部会

クラブ管理部会

資金推進・ ポリ才委員会

注:ガバナー、ガバナーエレクト、財団
委員長、補助金委員長、R財団監査委
員の所属クラブはグローバル補助金の
参加資格は在任中停止されます。



補助金管理計画

◆プロジェクトへのプラス効果

1. 適切な管理の下で実施
2. 高い技術標準
3. 受益者のニーズに応える
4. 目的を達成
5. 寄付者の資金を守る



◆財務と事務管理の地区方針 (参照: HB3-20P事務マニュアル) 公正・公平性を担保し、内外に開かれた見える仕組みを計画に



成果あふれる補助金プロジェクト

1. 地域社会のニーズに応える
2. 協同提唱者と頻繁に連絡を取る
3. 実施計画を立てる
4. 持続可能なプロジェクトを立案する
5. 適切な資金管理を行う



資金管理

「資金管理」とは責任ある財務管理と補助金の監督を意味します。

- ロータリアンによる監督
- 標準的な事業慣行
- 財務記録の定期的チェック
- 補助金の監督
- 不正の報告
- 不備のない報告書を期日通りに提出



参加資格要件

- 1年間有効(ロータリー年度ごと)
- 補助金に対するクラブの全体責任
- 利害の対立を開示
- 監査に協力
- 資金の適切な使用
- 「クラブの覚書」の順守 (HB3-8P 覚書(MOU))



セッション1 プロジェクトの立案

本セッションの目的

1. プロジェクト選びのベストプラクティスを学ぶ。
2. プロジェクトの実施計画を立てる。
3. 進捗が測定可能な目標の立て方を理解する。



補助金プロジェクトを成功させるために

- 地域社会に実在するニーズ
- 協同提唱者との頻繁な連絡
- 実施計画
- 持続可能なプロジェクト (HB1-26P③持続可能性とは)
- 適切な資金管理



ニーズ調査の目的

- 地域社会の強み弱みを知る
- 地域社会の問題点を知る
- 新たな奉仕プロジェクトを発見する
- 既に実施されているプロジェクトの重複を防ぐ
- 6つの重点分野の中心となるかチェック
- 取り組む必要性が第三者に説得力あるか
- ローターやパートナーのリソースが生かされるか
- プロジェクトが最終的にローターの公共性のイメージと認知度が高まるものか

• (HB1-26P①地域社会の調査を参照)



地域社会のニーズ調査

- 地域社会のニーズに基づいてプロジェクトを選定

- クラブと協力団体が持つリソースを検討

- 地域社会の人々にかかわってもらう

- **ニーズ調査の方法**

準備: 現状把握

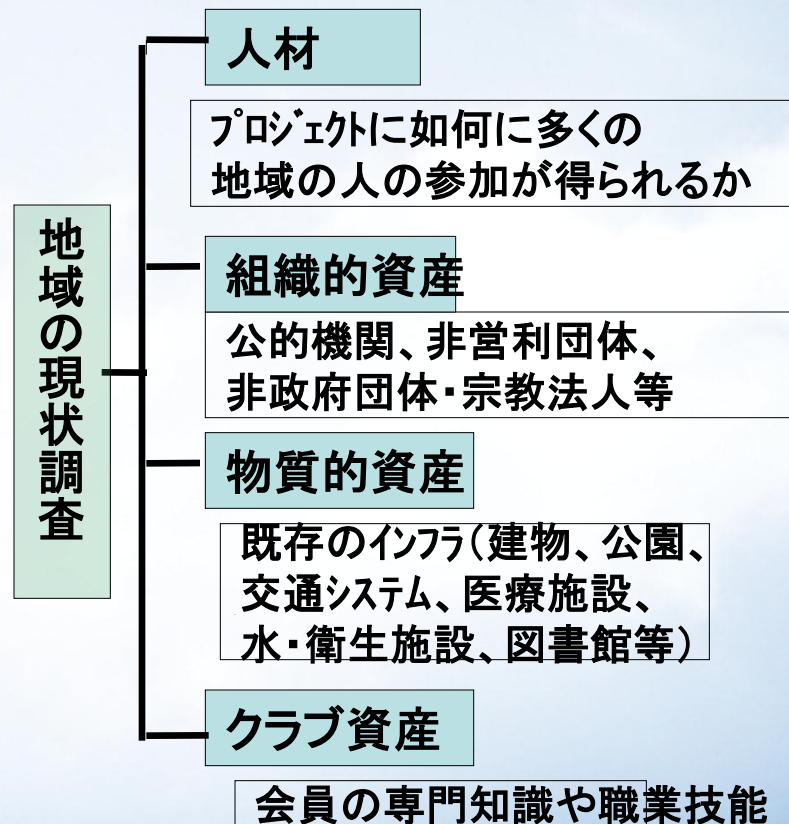
① アンケート方式 ② 座談会形式

③ 資産の棚卸し

③ 地域社会のマッピング

④ パネル討論会

何を調査するか？



協同提唱者

- ProjectLINK
- RI国際大会
- プロジェクトフェア
- LinkedIn
- Matchinggrants.org/global
(マッチング・グラントのサイト)
- 国際会合



- ◆協同提唱者を探したことのある方は？
- ◆協同提唱者(協力団体)と連絡を取る良い方法は？



協力団体と協力組織の違い

協力団体: Cooperating organization

専門知識や技術を有し、評判のよい専門技術を提供したり、調整を行うなどして、プロジェクトの実施に直接に関与する団体（通常は非営利団体で、政府機関の場合もあります）

- プロジェクトは、協同提唱者であるRCまたは地区が管理。ロータリー財団補助金は協力団体には直接送金しない。
- 1団体年5回までロータリーと協力が可能。プロジェクト毎に協力団体の承認をR財団から受け、覚書またはagreementを提出。

協力組織: Strategic partner

ロータリー財団と長期的に公式な協力関係にある団体（ロータリー財団の長期パートナー）非政府組織や大学など。例としては、Rotaplast Internationalやポリオでは世界保健機構、米国疾病対策センター、ユニセフなど。

パッケージ・グラントにおいて協力する団体。



プロジェクトの計画

- 3名のプロジェクト委員は誰を任命しますか？
- 役割の分担 (HB1-7P～9Pを参照)
- 実施計画
- 予算
- 危機対応計画
- 書類保管のシステム



予算の作成

- 現実的
 - 競争入札
 - 妥当な価格
 - 利害の対立を開示
-
- (HB1-4P～5Pを参照)



目標の設定

- 測定可能・・・モニタリング
- 持続可能
 - 量的(数値)
 - 質的(記述的説明)
- 基準データを特定する事例
- 目標を設定する事例
- 測定方法を決定 (モニタリングはHB1-44P～ツールキット参照)



◆補助金活動を選定する際、皆さんのクラブではどのような要素を考慮しますか？



セッション1の振り返り

①学んだこと

プロジェクト選びのベストプラクティスを学ぶ。

プロジェクトの実施計画を立てる。

進捗が測定可能な目標の立て方を理解する。

②これから実行すること

③連絡先

事例研究



セッション2

補助金の申請とプロジェクトの実施

研修目的

- 1.承認へとつながる提案書と申請書を作成できる。
- 2.補助金プロジェクトの資金調達の仕組みを理解する
- 3.評価の重要性について説明できる。

参考委資料:クラブMOU・授与と受諾の条件、活動する地域社会」



新地区補助金の申請

- 地区が一括で補助金を受領し、クラブに配分
- 財団には大まかな指針が設けられている
 - 財団の使命に適うか？ ロータリーらしさは？
 - 成果が確実に出るか？ 独自性・効率性・持続性は？
- 地区の方針である(2780地区R財団運営規程)に沿っているか(申請手順・審査基準)
- (HB1- 7P~9Pと 23P~25Pを参照)



地区補助金の提案書

1. 受益者 (beneficiary or benefiting community) が援助を必要とする現況と行政等の方針
2. 奉仕プロジェクトの事業内容とその事業の持続性と受益者以外への波及効果
3. ロータリアンの主体性と奉仕活動参加人数
4. ロータリーならではの独自性と特殊性
5. ロータリーならではの独自性と特殊性
6. 概算の予算計画

新地区補助金の提案書

2780 地区指定様式 D1201 号

提唱者に関する情報

提出日： 年 月 日

クラブ名

会長名

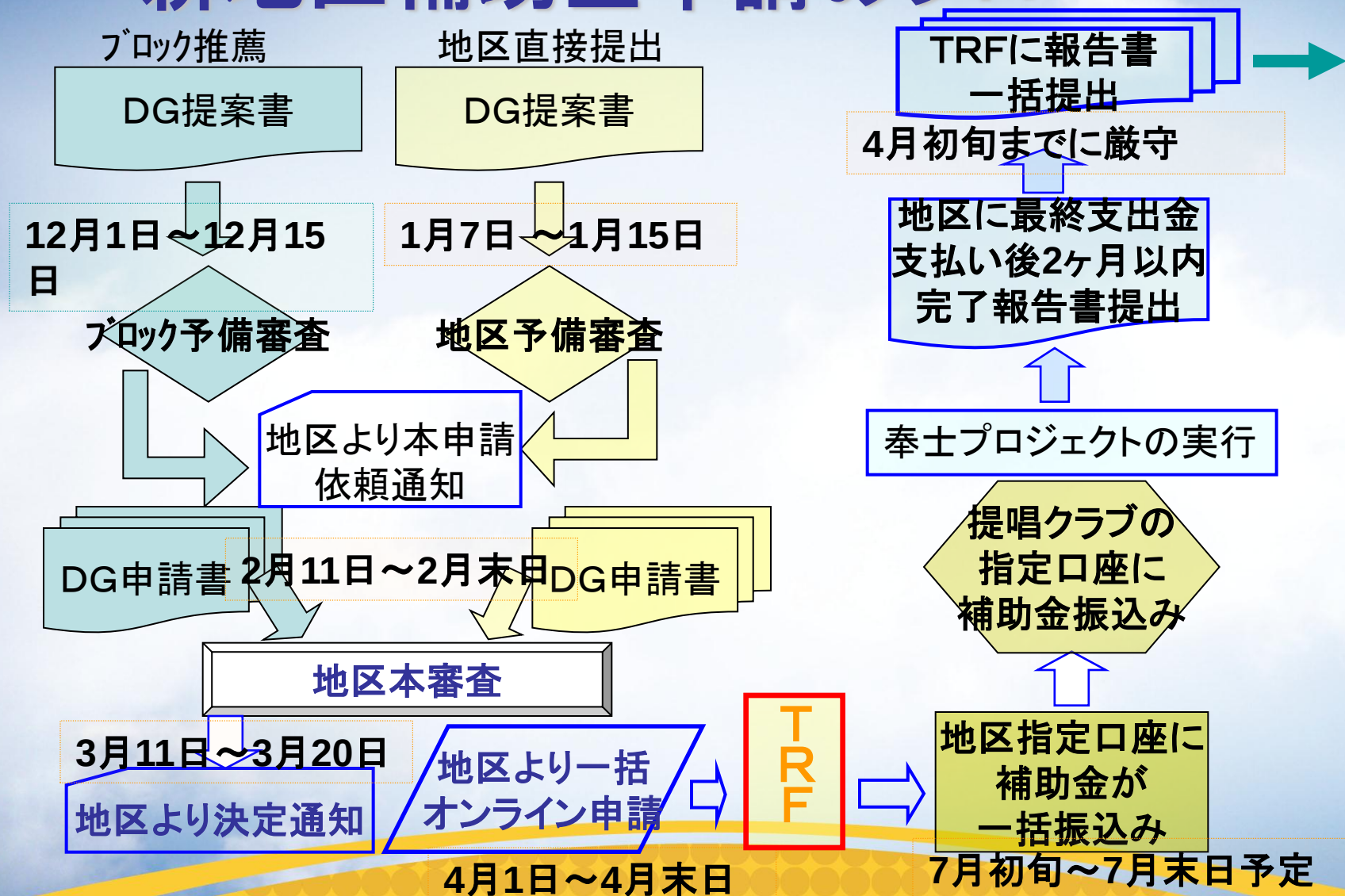
財団委員長名

奉仕プロジェクト委員長名

姓(漢字)： (ローマ字)		名：			
E-mail address		☎：			
プロジェクトの予定活動期間： 年 月～ 年 月 完了報告予定日： 月					
計画事業予算合計額：		事業主体：			
クラブ拠出金： (円・\$)		他の RC または、団体の参加があればその名称 ①			
補助金申請額： (円・\$)		②			
1. 受益者 (beneficiary or benefiting community) が援助を必要とする現況と行政等の方針					
2. 奉仕プロジェクトの事業内容とその事業の持続性と受益者以外への波及効果					
①事業内容					
②事業の持続性を担保する施策と期待される波及効果					
3. ロータリアンの主体性と奉仕活動参加人数		4. ロータリーならではの独自性と特殊性			
主体性の根拠：					
ロータリアンの現地参加予定人数： 名					
4. 事業予算 支出の概算内訳					
①	:	千円	⑤	:	千円
②	:	千円	⑥	:	千円
③	:	千円	⑦	:	千円
④	:	千円	合計	:	千円
付属添付書類：「 」 「 」					



新地区補助金申請のフロー



地区全ての完了報告書提出がないと地区は次の申請ができません



グローバル補助金の申請

- オンラインで提案書の自己チェックをし、オンラインで申請書を提出（**HB1-19P～25Pを参照**）
- **地区財団補助金推進委員会がサポート**
- 6つの重点分野の中心に目標が関連
- 持続可能であること
- 2つの提唱地区またはクラブが関与
- 活動予算は最低30,000米ドル（DDFは15,000）以上
- クラブの受領資格を地区が確認



重点分野

重点分野: 目的と目標を参照

<http://www.rotary.org/ja/Members/RunningADistrict/FutureVisionPilotProgram/Pages/AreasofFocus.aspx>



平和と紛争予防／紛争解決



疾病予防と治療



水と衛生



母子の健康



基本的教育と識字率向上



経済と地域社会の発展



ワークシート4: 持続可能性

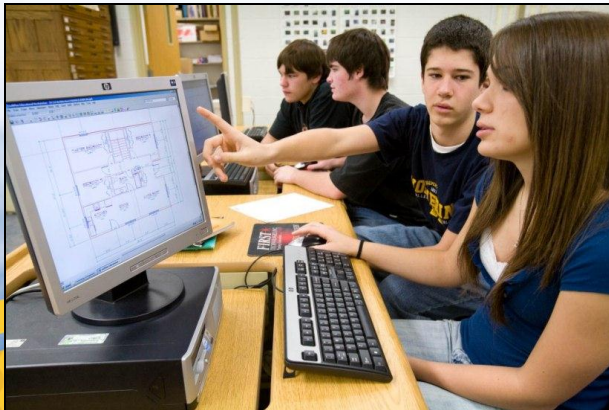
「グローバル補助金プロジェクトの持続可能性の原則」

1. 補助金資金が終了後も多様なレベルの持続可能性を目指す。
2. 地元のリソース、考え方や意見、知識を最大限に活用する。
3. 天然資源基盤を大切にし、環境の悪化・破壊をさせない。
4. 最大数の人々に恩恵を与えるよう努めると。
5. 財団の重点分野に職業訓練や奨学生等人材育成を組みこみ、永く貢献できるようにしたり、地域社会や職業に多大な影響を与え、効果を高めるために、地域の参加する人々を養成する仕組みをつくること。
6. ロータリー地域社会共同隊など、草の根の人々や団体の意見やスキルを生かし、プロジェクトと活動の継続性を図る。



提案書

- 特定された地域社会のニーズ
- 活動内容と期待できる成果
- 重点分野との関連性
- 大まかな予算



申請の手順

ニーズ調査実施



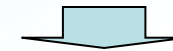
重点分野を選ぶ



目標を選ぶ



持続可能かどうか判断する



地区に提案書提出・予備審査



R財団へ提案書



R財団へオンラインにて申請書

申請書

- 詳細な計画
- ロータリアンの関与方法
- 持続可能性の説明
- 詳細な予算

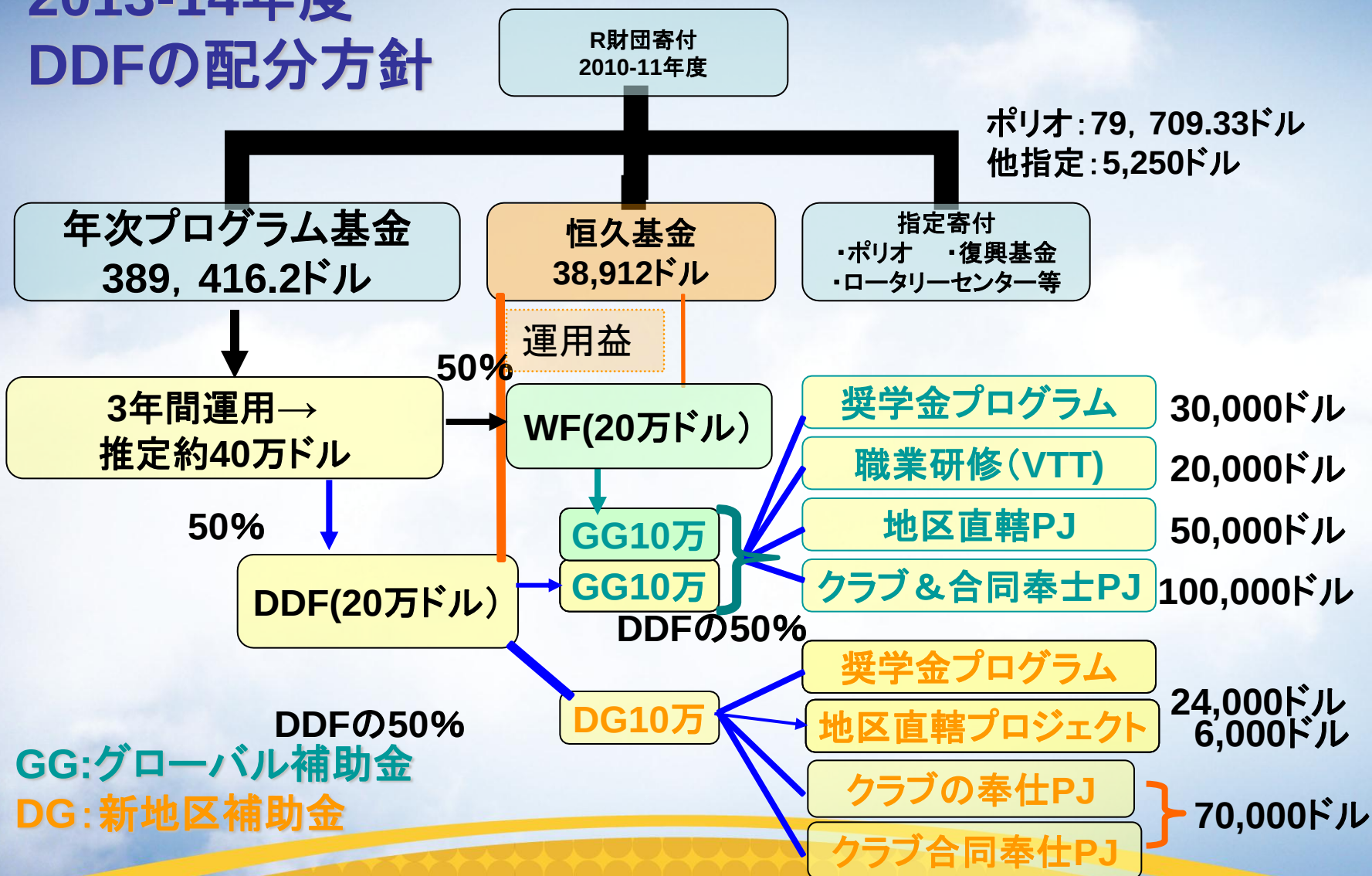


グローバル補助金の資金調達

- DDF にはWF(国際財団活動資金)から同額が上乗せされる
- ロータリアンの現金寄付にはWFから50%が上乗せされる
- ロータリアン以外による寄付金



2013-14年度 DDFの配分方針



資金の拠出に関する指針

- ロータリアンが募金で得た収益
- 補助金をもらうために受益者から資金を集めることは認められない
- ほかの財団補助金を回すことはできない
- 寄付は寄付者本人からのものとして記録



実施



- コミュニケーション
- 財務管理計画
- 記録の保持
- 当初の計画に従う



評価

- 報告書作成に役立つ
- 今後のプロジェクトの改善
- 目標を指標とする
- 実施中と完了後に行う
- 内外に成果を伝える



セッション2の振り返り

- 承認へとつながる提案書と申請書を作成できるようにする。
- 補助金プロジェクトの資金調達の仕組みを理解する。
- 評価の重要性について説明できる。



セッション3

補助金の管理と報告

セッション3の研修目的

本セッションの終了後、参加者に期待されること

- 財務管理と記録維持の
ベストプラクティス(最善の方法)を学ぶ。
- 保管すべき書類は何かを知る。
- 報告要件を理解する。



財務管理計画

◆財務管理における会計処理の考え方

◆財務管理の方法 (HB3-20P～事務管理マニュアル参照)

- ・ 補助金専用の銀行口座
- ・ 資金の支払い方法
- ・ 支払記録が残るよう、
銀行振込等の方法を使用
- ・ 詳細を帳簿に記録
- ・ 国の法律を順守



リソース

- 書類保管ワークシート
- 財務管理計画ワークシート (HB3-38P～参照)
- 銀行口座署名人の引継ぎ (HB3-36P～引継書を参照)
- このほかのリソースは www.rotary.org から



書類の保管



- 誰でも閲覧できる場所に
- 最低10年間は保管(当地区は)
- コピーを取っておく(電子データと紙ベースで)
- (HB-3 17P~19Pを参照)



地区補助金の報告書 (HB3-41P～書式参照)

補助金の使途を報告することは、なぜ重要なのでしょうか。

- 報告書の提出は適切な資金管理の重要な要素。
- 報告書は、補助金が適切に管理され、使用したことの裏付け。
- 提唱者同士のコミュニケーションがとれ、信頼関係を深める。
- プロジェクト提唱者と財団が活動の成果を確認し、改善点を学ぶことが可能。
- 寄付金が活用を寄付者が知り、寄付増進につながる。
- 補助金モデルの改善の参考となる貴重なデータ。
- 補助金の恩恵や成果を実証する上で、活用できる。
- 各重点分野の成果データを紹介してロータリアンの活動意欲を高められる。
- 要件に準拠して記録を維持していれば、財団の要件を満たす報告書が容易に作成できる。



グローバル補助金の報告書： 報告頻度

- ・ 中間報告書
 - ・ 初回の支払いから12カ月以内
 - ・ その後は、補助金終了まで12カ月ごと
- ・ 最終報告書は**支払い金の完了**から2カ月以内
- ・ (HB3-41P～完了報告書書式を参照)
- ・ 全ての報告書が提出されないと、次年度の補助金の申請が受けられない(4月中旬迄に地区へ)



グローバル補助金の報告書:内容

- 双方の提唱者並びに関係者の参加状況
- 活動の種類
- 活動目標に向けた達成度の評価
「持続性、広報活動(メディア)等の定性・定量目標の観点」
- 重点分野がどう達成されたか
- 資金がどう使用されたか
- 恩恵を得た人の数、および恩恵の説明
及び受益者以外への波及効果



利害の対立

- ロータリアンが補助金活動から金銭的または個人的に利益を得る場合、「利害の対立」が生じる
- 「利益」とは、直接的利益（ロータリアンへの利益）または間接的利益（ロータリアンと関係のある人の利益）が含まれる
- 「補助金参加者の利害の対立に関する方針（Conflict of Interest Policy for Grant Participants）」の開示
(HB3-11Pを参照) (ロータリー財団章典の第7.030.項を参照)



利害の対立に関する事例研究

事例研究1の回答例：

- ・ロータリアンが経営する会社を採用することは
- ・選定プロセスの公正さと透明性を保つためには、

事例研究2の回答例：

- ロータリアンが利害の対立とみなされこととは？
- 協力団体が利害の対立となることとは？
- クラブが対策を講じる必要があるのは？
 - 協力団体の理事となっているロータリアンは
 - ロータリアンではない
 - 競争入札プロセスの
 - この事実を誰に
 - 補助金申請書の中で、_____を公開し、_____説明する。
 - 好ましくない事態が生じた場合のために、_____。



セッション3の振り返り

- 財務管理と記録維持のベストプラクティス（最善の方法）を学ぶ。
- 保管すべき書類は何かを知る。
- 報告要件を理解する。



セッション4 参加資格の認定

本セッション終了後、参加者に期待されること
資格要件とクラブの資格認定手続きを管理する。

資格要件

- ・ 補助金管理セミナーへの出席
- ・ 署名の入った「クラブの覚書(MOU)」を提出

資格の維持

(HB3-7PクラブMOU 参照)

- ・ 「クラブの覚書」の規定を順守
- ・ クラブの資格手続きを管理する会員(または委員会)を任命
- ・ 資金の不正使用を防ぐための適切な管理体制



資格と条件

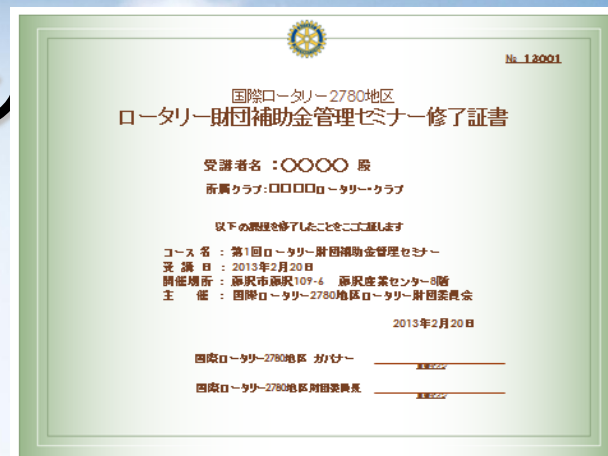
- ・ 補助金管理セミナーに2名以上出席すること。
- ・ 「クラブの覚書」に同意し、署名入りの「覚書」を地区に提出すること。
- ・ **透明性と公平性の確保：** 補助金管理に於いて、クラブ全員に周知され参加の機会が公平であること、補助金の透明性と、使途の結果がクラブ内はもとより、外部にも広報され、理解が得られものにすること。
- ・ **効果と貢献度の高いものに焦点を絞る：** 受益者へのお役立ちと、社会に対する影響と貢献度が高い奉仕に焦点を絞り、効果的なプロジェクトを目指すこと。
- ・ **クラブとロータリアンが主体的に活動できること**
モノや金銭の援助より、実践的な提唱クラブとロータリアンの行動を主体とした、奉仕活動であること。



セッション4の振り

参加者に期待されること

- ・ 資格要件を理解する
- ・ クラブの資格認定手続きを管理する。



クラブの資格チェック

- ①「クラブの覚書」要件のうち、クラブが既に満たしているものは？
- ②クラブがこれから満たす必要のある要件は？
- ③「クラブの覚書」の要件を満たすためには
 - ・ クラブで誰に協力してもらいますか？

まとめ



疑問点はありませんか



本日受講者の方は受付にて参加資格
修了台帳の確認をお願いします

